

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岐阜県関市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	関市文化遺産を活用した地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>関市では関市文化遺産を活用した地域活性化事業を実施する。下記の取組を通じて地域の文化遺産の次世代への継承や発展、文化遺産を活用しての地域活性化の推進を図る。また、計画期間中、各取組を通じて行政と民間団体による連携・協力体制の確立を目指す。</p> <p>① 関市の文化財に関する学習用及び普及啓発用パンフレットの作成（外国語対応も含む） ② 関市の文化財に関する企画展の開催 ③ 関市の文化財に関わる講演会の開催 ④ 関市の文化財に関わる見学会の開催 ⑤ 関市の文化財に関わる体験講座</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、関市が全体計画の企画、調整、事業の指導をおこなう。</p> <p>役割、担当課は 文化課文化財保護センター：文化財の調査方法、取扱いに関する指導等 観光交流課：観光業務に関する調整・連携等</p> <p>また、補助事業は関市文化財活用事業実行委員会（委員長：山田武司）が実施する。 構成団体（小瀬鵜飼保存会、関遊船株式会社、一般社団法人関市観光協会、長良川中央漁業協同組合、関市農務課、関市観光交流課、関市教育委員会文化課文化財保護センター）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 9,456 千円	平成29年度申請額： 721 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画を実施することにより、関市民が関市の文化財に対する関心や意識が向上する。市民が正しい知識を得ることにより、地域に残る文化遺産の魅力を知り郷土を愛する心を育むことができる。特に、小瀬鵜飼を訪れる観光客に弥勒寺遺跡群、円空といった他の文化を総合的に把握してもらいより一層、関市の魅力を伝えることができる。</p> <p>小瀬鵜飼に関しては昨年度、小瀬鵜飼乗船客数は9千人だった。今年度は実行委員会のイベントを絡めて乗船客数1万人になるように普及活動をおこなっていく。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	小瀬鵜飼の見学—関市内の小学5年生全員を観覧船に乗せて鵜飼を見学させる。		
事業概要：	弥勒寺遺跡群・円空の小学校対応一見学を希望する学校に遺跡・円空の説明をおこなう。		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>現在、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けての具体的な動きはないが、「歴史文化基本構想」の策定は近い将来おこなっていきたいと考えている。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	関市教育委員会 文化課 文化財保護センター		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	小瀬鵜飼の乗船客数を 1 万人			関連事業 :	①②③④⑤	
目標値 1 :	平成 29 年度		9,000 人	⇒	平成 34 年度 10,000 人	
設定根拠 1 :	5 年間、乗船客数を 1 万人にしているが、超えていないため。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 2 :	市民意識調査の「文化・文化財の満足度」の割合			関連事業 :	①②③④⑤	
目標値 2 :	平成 29 年度		22 %	⇒	平成 34 年度 24 %	
設定根拠 2 :	市民意識調査 (せきのまちづくり通信簿) の過去 3 ヶ年の平均以上と設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	
目標区分 3 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 3 :	関市円空館の入館者数			関連事業 :	①⑤	
目標値 3 :	平成 28 年度		5,000 人	⇒	平成 33 年度 5,150 人	
設定根拠 3 :	小瀬鵜飼、弥勒寺遺跡群の近くにある円空館の入館者数を年 0.5% 増やす。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 4 :	小瀬鵜飼保存会員数			関連事業 :	①②③④⑤	
目標値 4 :	平成 29 年度		3 人	⇒	平成 33 年度 7 人	
設定根拠 4 :	保存会員数を毎年 1 人増とする。					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業④：	関市文化財の体験講座					実施団体：	関市文化財活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	関市の文化財を支える職人たちの技術の存在を知ってもらうことも非常に重要である。今回は鵜飼で使用される竹かごを作る職人の技術を体験してもらう講座と川舟を操る船頭たちの技術を体験する講座を実施する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	小瀬鵜飼の乗船客数										
目標値：	平成 29 年度		9,000 人		⇒		平成 33 年度		10,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑤：	長良川に関する文化財ツアー					実施団体：	関市文化財活用実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	関市小瀬、池尻地区は国指定小瀬鵜飼、国史跡弥勒寺官衙遺跡群、県史跡円空入定塚・円空の墓と関市を代表する文化財が多くみられるところである。関市の文化財を総合的に知ってもらうことを目的とする。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	円空館への入館者数										
目標値：	平成 29 年度		5,000 人		⇒		平成 33 年度		5,150 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
人	人	人	人	人	人						